

# 第8回 歴史地震史料研究会

(旧名称：前近代歴史地震史料研究会)

主催：新潟大学災害・復興科学研究所「日本海沿岸地域を中心とした地震・火山現象の解明のための史料収集と解析」研究グループ，科研基盤研究C「災害記録としての活用に向けた年代記の研究」

**2020年11月15日（日）11:55～17:40 Zoomを用いたオンライン開催**

## 研究発表会日程

### 12:00～13:00 口頭発表

齋藤瑞穂・鈴木正博 縄文三陸地震津波再々論—縄文時代後期の山田湾津波と復興—  
北村 繁・伊藤響平 弘前城に達する岩木山の山体崩壊堆積物  
清水 香 災害と廃棄

### 13:10～14:10 口頭発表

片桐昭彦 『三国一覧合運図』にみる中世の地震と災害  
蝦名裕一 「古新集鑑」にみる旧気仙郡の歴史地震  
佐藤善輝・小野映介・藤原 治

九十九里浜平野旧片貝村における1703年元禄関東地震津波の史料と地質記録による検証

### 14:20～15:20 口頭発表

西山昭仁 近世京都の被害地震における建物被害の要因  
原田和彦 江戸時代における上越地方の地震活動について  
原 直史 台風と地震がもたらしたもの—文政11年再論—

### 15:30～16:30 口頭発表

堀 健彦 津波被害絵図からみる1854年南海地震  
矢田俊文 1855年安政江戸地震被害の境界地域と1856年安政台風による多摩地域の被害  
原田智也・西山昭仁

新史料に基づく安政五年十二月八日（1859年1月11日）の岩槻の地震の再検討

### 16:40～17:40 口頭発表

松岡祐也 宮城県石巻測候所による1900年宮城北部地震の調査  
中村 元 1923年関東大震災時の新潟県刈羽郡における災害情報について  
谷口 央 1944・5年東南海地震・三河地震における安城市域での状況把握

本年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から事前申込制によるZoom（ウェブ会議システム）を用いたオンライン方式にて行います。参加申込の〆切は11月8日（日）とさせていただきます。

参加を希望される方は氏名・メールアドレス・所属・住所をご記入の上 [katagiri@human.niigata-u.ac.jp](mailto:katagiri@human.niigata-u.ac.jp) までお送りください。

問い合わせ先 片桐昭彦（新潟大学人文学部，災害・復興科学研究所兼任）

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学人文学部

電話 025-262-6542 E-mail: [katagiri@human.niigata-u.ac.jp](mailto:katagiri@human.niigata-u.ac.jp)